三鴨小だより

学校教育目標
やさしい子 かしこい子 たくましい子

第２８号

発行日　平成３１年３月１５日
発行者　三鴨小学校長　廣田　昌英

気持ちは分かるけど…

１年生の道徳の授業では、「もうすぐ２年生」という教材で１年間の学校生活を振り返っていました。矢部先生が「学校で楽しかったことは何ですか？」と尋ねると、ほぼ全員が「はい！はい！」と手を挙げました。そして、幸運にも指名された子どもたちは、自分が楽しかったことを元気よく発表していきます。「体育！」「図工！」「校外学習！」「昼休み！」うん、うん、みんな楽しそうだったよね。そして「宿題！」…え？それを学校でやってたってこと？それって家でやってくるのを忘れただけじゃん？だいたいそれって楽しかったの？きりがないので「はいはい、次に指された人を最後にします。」と前置きして矢部先生が指名した子が答えました。「夏休み！」…..そりゃぁ楽しかったろうね。でも、それって学校じゃないじゃん！

やさしい子に

現在の２年生は、１組も２組も一生懸命お楽しみ会の計画を練っています。グループに分かれ、意見を出し合い、ぶつかり合い、話し合い、よりよいものにしていく作業が続いているのです。異なる意見を尊重する姿勢はとても大切ですよね。この作業は子どもたちにとってとてもいい機会になっているようです。でも、クラス替えがある唯一の学年である２年生にとって、このメンバーで作業すること自体が特別なんでしょうね。お楽しみ会が大成功しますように！

小粒でもピリリと

卒業式での「わかれの言葉」には、学年全員で発声する言葉があります。各学年がかたまって座っているので、教室での練習の雰囲気そのままに発声できるのですが、３年生だけはそうはいきません。卒業生が入退場する花道によって２つに分断されて座っているのです。それってかなり心細いはずなのですが、それを見越して舘野先生と特訓を積んでいるのでしょう、２つに分断されていても、全員で見事にそろった大きな声を響かせてくれています。さらに、個人パートにも驚かされています。身長順に整列すればおそらく先頭付近に並ぶであろう子どもたちが、とても大きな声を体育館に響かせてくれるのです。気持ちいいです。置かれた環境を嘆いているばかりじゃいけませんよね。そのスタートラインからどれだけ頑張れるか、その大切さを３年生から教えられました。

冬といったら…..

４年生の掲示版、現在は俳句が掲示されています。冬がテーマなのでしょう、ほとんどの子が「雪」とか「白い」「冷たい」といったことばを使っています。そんな中、「家出たら　一面白い　ほほ赤い」と、真っ白な中に紅をさしてきた作品がありました。センスがいいですね。「踏んでいく　ザクザク鳴るよ　霜柱」これは視覚から一転して聴覚に訴える作品です。お見事。そして…ふふふ、やっぱりありました。「うどん そば　うまいの食べて　あたたかい」…..幸せだよね。

らしく…

卒業式の練習では下級生に見事にお手本を示し、見えないところでも式場準備などに奮闘している５年生、もうすっかり６年生からバトンタッチを終えたような気がします。この日も教室をのぞいてみると、根岸先生が不在なのに各自が思い思いに自習に取り組んでいました。このようにしっかりと個別の行動が取れるかと思うと、３階の窓から「行ってらっしゃーい！」と大合唱のチームプレイを見せる５年生。これからもこの調子で頼むよ。ところが、根岸先生不在の理由を子どもたちに尋ねたら…..ちょっと失敗をしちゃった子に別室で説教中だとか…。ははは、いいよ、いいよ、５年生。君たちはこのまま、このままでいてね！

これで最後…

６年生との会食（給食）が終わりました。ボソボソと何を言っているのか聞き取れないような声で話す子は一人もいませんでした。私が何を聞いても笑顔でハキハキと答えてくれるのがとても気持ちよかったです。一人一人が笑顔で、しっかりとした受け答えができるのは、みかもっ子の特徴なのでしょうか？中学校に進学してもその笑顔を忘れませんように。フレー！フレー！６年生！そして、後輩たちがみんな君たちを真似してくれますように！